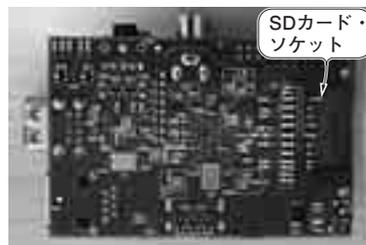
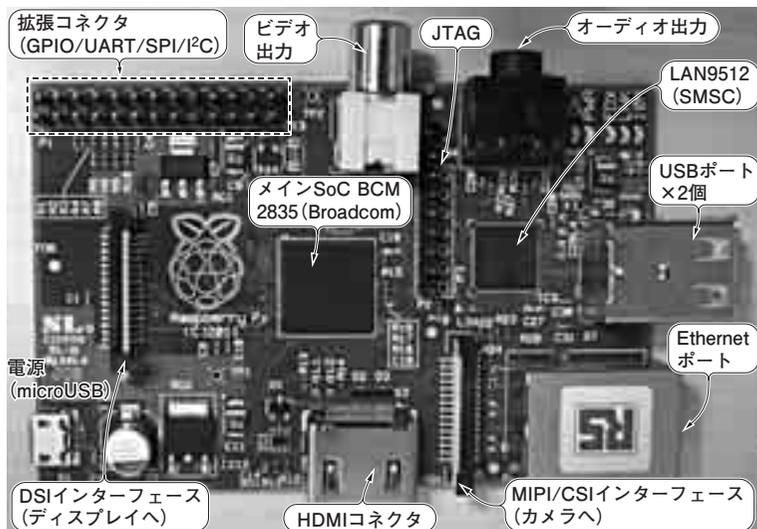




## HDMIからSPIまで主要インターフェースをフル装備! 700MHzのARM11で35ドル! フルHDマルチ・メディア SoC搭載の超小型パソコン基板 Raspberry Pi

圓山 宗智  
Munetomo Maruyama



(b) 裏面

◀(a) 表面

写真1 ARMパソコン基板「Raspberry Pi」名刺を一回り大きくした基板の上に、HDMI端子、USBポート、Ethernetポートなどをぎっしり搭載。たったのこれだけでパソコンになってしまう。裏面にSDカードのソケットがある。このSDカードをストレージとして使う

「Raspberry Pi(ラズベリー・パイ)」という名前を聞いて何を連想されるでしょうか? 私が最初に聞いたときは「何か美味しそうなお菓子かな?」でしたが、実はこれ、お口に入れることはできませんが、オイシイものでした(図1)。

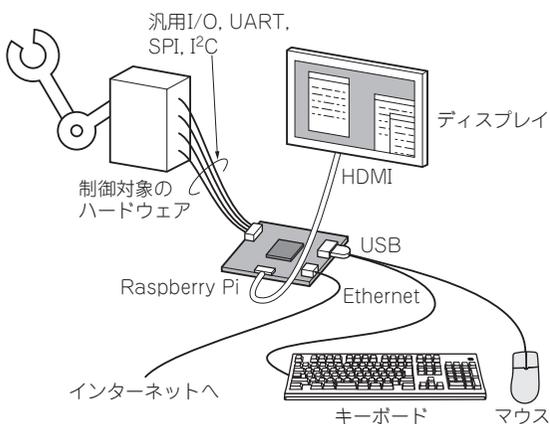


図1 超小型パソコン基板「Raspberry Pi」は直接ハードウェアを直接制御できる

コンピュータ・プログラミング教育の普及と推進のために2009年に設立された英国の財団Raspberry Pi Foundationが開発した教育用シングル・ボード・コンピュータの名称がRaspberry Piなのです。

写真1に示すように、名刺を一回り大きくした程度の超小型基板の上にBroadcom社製ARMコア・ベースの高性能SoC(System on a Chip)とHDMI(High Definition Multimedia Interface)、USB2.0、Ethernetコントローラ、SDカードなどの各種インターフェースを搭載しており、HDMIモニターやマウス、キーボードなどの汎用周辺機器を接続すれば超小型パソコンが実現できてしまいます。基本OSはLinuxで、すでに複数のディストリビューションがサポートされています。

しかもこれ、US\$25~35と非常に低価格なことも魅力です。現在世界中から注文が殺到していて、現時点ではかなり入手困難な状況のようですが、増産体制を敷いたとのことなので流通量は順次増えると思います。

日本では、アールエスコンポーネンツ(株)から販売されます。2012年8月までに約10万個の入荷を予定しているそうです(2012年6月20日時点)